

平成 28 年 5 月 20 日
三菱製紙株式会社 北上事業本部
北上ハイテクペーパー株式会社

「平成28年度科学技術分野文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞」受賞

このたび、北上ハイテクペーパー株式会社（社長：真部健司）の製造部感材製造課・小軽米広忠、高橋 優、高橋 進、後藤広大の 4 名が、平成 28 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において、創意工夫功労者賞を受賞し、その授賞式が 5 月 19 日にホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて行われました。

この表彰は、優れた創意工夫により職域における技術の改善向上に貢献した者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、日本の科学技術水準の向上に寄与することを目的として行われており、今回の受賞テーマと内容は下記となっております。

「品質向上を目的とした欠点故障の改善」

製造部感材製造課抄紙係 小軽米 広忠・高橋 優

抄紙工程で発生している欠点故障（黒い異物）が製品に混入すると異物があるとの判断より不良品（破損紙）として扱われてしまうことから、欠点故障削減に取り組んだ。

発生原因を特定するため欠点を分析。その成分から発生箇所を調査・特定し、原因を除去するために薬品種・添加量・掃除方法の検討を重ね対策を取ったことで欠点故障の減少が図られた。

効果として、欠点故障による破損紙を 110 t /6 ヶ月削減、効果金額 900 万円/6 ヶ月。

「品質向上を目的とした繊維故障の改善」

製造部感材製造課RC1係 高橋 進・後藤 広大

RC工程で生産している製品表面に繊維異物が付着した状態で、客先での表面塗工時に繊維付着部分が塗れず不良品となり、クレーム補償が請求されていた。発生している繊維がどのようなものか、職場内のどこから発生しているのかを職場内で調査し発生源を特定。使用している繊維製品の変更や飛散防止の検討、対策を行ったことで繊維故障が減少。

効果として、繊維故障が 2 個/製品から 0.37 個/製品に、繊維故障による客先クレーム補償が 1,000 万円/6 ヶ月から 0 円/6 ヶ月に減少。

